



PGA ジュニアリーグ



この資料は PGA ジュニアリーグ HP より抜粋
PGA ジュニアリーグ HP →<https://pgajrleague.jp/>

ご挨拶

2017年には、米国で3,400チーム42,000人の子どもたちがPGAジュニアリーグに参加、オフィシャルアンバサダーとしてローリー・マキロイ、リッキー・ファウラー、レクシー・トンブソン、ミシェル・ウィーなど知名度のある選手も協力をしており、ユース層、保護者、施設運営者を広く惹きつけている事業となっています。

日本におけるジュニアの競技環境は、個人レベルでの競い合いを目的としたものが多く、これにより様々な弊害も生まれております。このプログラムによりジュニアゴルファーのコミュニティが生まれ、本来のゴルフの楽しさを体験してもらい、素晴らしいゴルフを継続してもらうことを願うものです。



公益財団法人
日本プロゴルフ協会会長
吉村金八

個人競技であるがために孤独になりがちなゴルフは、これが起因しゴルフ離れに繋がるケースも少なくありません。そこでジュニア世代にもっとゴルフを楽しんでもらうためにジュニアリーグを国内で展開していくことを決定しました。この取り組みは、13歳以下の男女を対象に、楽しく社交的で開放的な環境でゴルフを学び、楽しむために考えられたシステムで、団体の中で行動を共にし「チームで勝利する」という同じ目標に向かうことができます。



時には喜び合い、時には悲しみ、感情を共有することで友情も生まれます。これにより子ども同士のコミュニティも生まれてきます。競技方法はスクランブルフォーマットを利用した団体戦。団体戦は個人に精神的な過度な負担をかけることが少ないのが特徴です。

○ジュニアリーグは

- ・競技志向ではなく、生涯スポーツであるゴルフを長く楽しむこと
- ・個人競技であるゴルフをチームでやること
 - ※競技志向では成績ばかり求められる
 - その結果、失敗すると二度とやらなくなる 失敗という躓きにより、ゴルフ自体をやらなくなる

○チーム構成

- ・監督・・・PGA 会員
- ・コーチ・・・練習場の関係者・保護者等
- ・選手・・・対象年齢9歳～13歳（2024年12月31日までに誕生日を迎える）
- ・選手登録料・・・11,000円/年(税込)
ユニフォーム（ポロシャツ2枚）・ネームタグ・キャップ
- ・1チームあたり・・・6名～14名で構成される

ルールの紹介

PGA ジュニアリーグは、1チーム最大14名で編成されチームによる総当たり戦の団体戦である。競技方法もスクランブル形式を採用し、チームワークを重視し個々のプレイヤーのプレッシャーも減らせ、楽しんでゴルフをすることも目的としている。



PGA ジュニアリーグ

「PGAジュニアリーグゴルフ」とは、13歳以下の男女を対象に「社会的で開放的な環境で、楽しくゴルフを学ぶことができる」ジュニア育成プロジェクトで、アメリカでは2011年から米国PGA主導で始まった。

昨今のスコア至上主義を覆す、「画期的なモデルケースといい・ゴルフについて学ぶ環境を作り出せるように・独自のスクランブルフォーマットを活用して行うゲーム方法」は、底辺拡大の大きな一助になっている。

アメリカでは、2017年時点で3400チーム、42000人の子供たちが参加する一大プロジェクトまで発展し、大成功を収めている。

西日本地区

